

ひまふ 火守りトピックス

No.175 令和3年6月25日(金)掲載



令和3年度全国統一防火標語

『おうち時間 家族で点検 火の始末』



「第44回消防救助技術岩手県大会」

6月11日(金)、第44回消防救助技術岩手県大会が矢巾町の県消防学校で行われました。今大会は、一般入場制限、出場チーム数の削減などにより密を避け感染防止対策を講じる中、県内12消防本部の隊員が救助技術を競い合いました。

当本部からは、総員10名が計4種目に出場し、訓練の成果を見せるべく精一杯競技に臨みました。その中でも、応用登はんの部に出場した伊五澤、菊池(春)ペアは、自己ベストに迫るタイムを叩き出し、2位の好成績を収めました。

また、ロープブリッジ救出の部に出場した小水内(晶)チームは、1位から3位のタイム差がわずか0.9秒という接戦の中、惜しくも3位で東北大会出場の切符を掴むことが出来なかったものの、来年に向け手応えと期待を感じる結果となりました。

大会終了後、小水内晶紘隊長は、「市民の安心安全を守るため、救助技術のみならず、火災、救急に関する技術の研さんに努めたい。」と決意を新たにしました。



各 種 目 の 結 果

【ロープブリッジ救出の部】

小水内晶紘隊員・久保田裕人隊員・佐々木丸太隊員・小山光隊員

タイム：54.9秒(3位)

【はしご登はんの部】

菊池駿隊員

タイム：16.1秒(5位)

【ほふく救出の部】

小向宏樹隊員・高橋慶太隊員・小水内佳紘隊員

タイム：50.4秒(11位)

【応用登はんの部】

伊五澤弘樹隊員・菊池春樹隊員

タイム：11.9秒(2位)